

9/18 (月) 竜門峡 (日川溪谷) ハイキング

担当；上原

日川溪谷の大和町田野地区から天目地区にかけてを竜門峡と呼んでいます。
武田家ゆかりの景德院、栖雲寺、も巡ります。

所持品： 昼食、飲み物、敷物、等

注意： 遊歩道は足元が滑りやすいのでしっかりした靴をお願いします。

昼食は溪谷のどこかでタイミングをみてとります。

帰りはバスの時間を見て（本数が少ない）乗車バス停を決めます。

（バス停候補；栖雲寺、やまと天目山温泉、日川溪谷レジャーセンター）

9/18 (月：祝日) 中野島駅 7：40集合

京王線経由の場合

行き	南武線	中野島駅発	7:48
		分倍河原着	8:03
京王線		発	8:07
		北野着	8:19
		発	8:21
中央線		高尾着	8:31
		発	8:45
甲州市営バス		甲斐大和 着	9:44
		甲斐大和 発	9:57
		景德院入り口	10:01

JR立川経由の場合

中野島	7:48
立川着	8:14
発	8:18
高尾着	8:35

立川経由 片道¥1,518

京王線経由 片道¥1,451

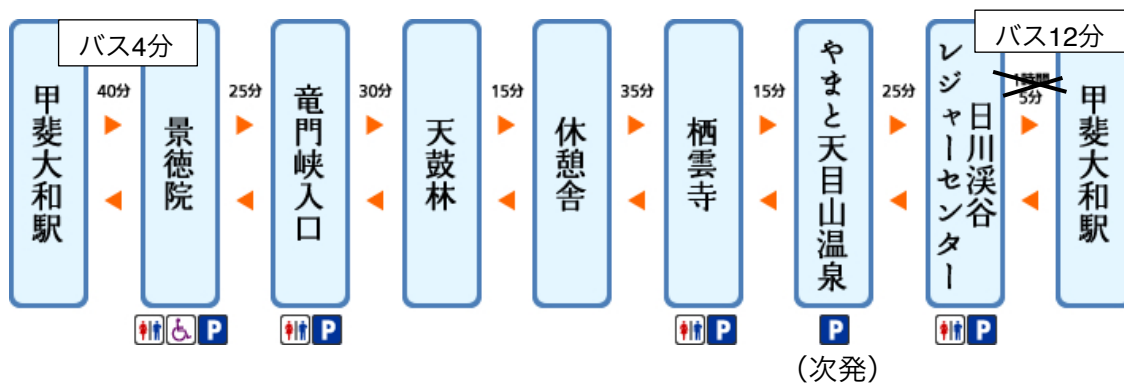
市営バス 片道¥300 (行きSICA可)

(帰り栄和交通バス 現金のみ)

総交通費 ¥3,502~¥3,846

ハイキング (詳細は別紙参照)

歩行距離 5Km程度 (溪谷は2.4Km)

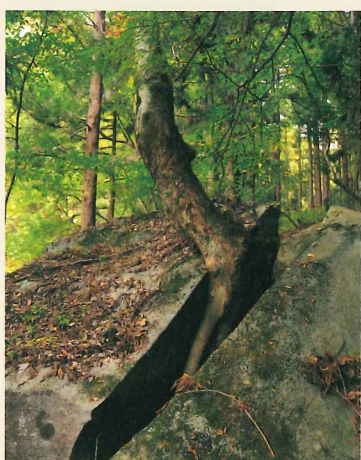


帰り	栄和交通バス (現金のみ)	栖雲寺	14:29	15:29	(栖雲寺乗車 ¥510) (その他乗車 ¥300) *現金のみ
		やまと天目山温泉	14:31	15:31	
		日川溪谷レジャーセンター	14:33	15:33	
		甲斐大和駅	14:45	15:45	
JR中央線		甲斐大和駅発	15:24	16:18	

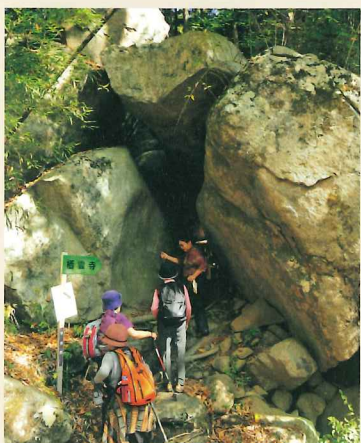
Close up 竜門峡遊歩道



⑨ 清冽な水が注ぐ蜘蛛淵。



⑧ 木賊の石割ケヤキ



⑦ 巨石がつくる平戸の石門。



⑥ 休戸橋を渡るハイカー。



④ 竹林を通り抜ける。



② かつて炭焼に使われた窯跡。



① 溪谷の道は竜門橋から始まる。

※溪谷沿いの道はすべりやすくなっています。足元にご注意ください。

竜門峡

大菩薩連嶺の南麓を流れる日川にあり、花崗岩の巨石と水量豊かな清流で知られる。溪谷に沿って約2kmの遊歩道が整備されており、新緑から紅葉まで、折々の溪谷美を満喫できる。



⑤ 溪谷のほとりの休憩舎。



③ 天鼓林から上流を見る。

